

ついに  
来たよ!

令和6年度  
福井市当初予算案資料

# Next Stage! 「大交流時代」に繋げる予算



福井市



# 【目次】

<b>1</b>	<b>令和6年度当初予算のポイント</b>	
	福井は <b>楽しい!</b>	・ ・ ・ ・ 2
	福井は <b>安心!</b>	・ ・ ・ ・ 4
	福井は <b>元気!</b>	・ ・ ・ ・ 6
	<b>DXとゼロカーボン</b> の推進	・ ・ ・ ・ 8
	<b>チャレンジ</b> みらい予算	・ ・ ・ ・ 9
<b>2</b>	<b>予算概要</b>	
	会計別予算概要	・ ・ ・ ・ 11
	一般会計 <b>歳入歳出</b> 予算概要	・ ・ ・ ・ 12
<b>3</b>	<b>令和5年度3月補正予算</b>	・ ・ ・ ・ 14
<b>4</b>	<b>令和6年度3月補正予算</b>	・ ・ ・ ・ 15

# Next Stage! 「大交流時代」に繋げる予算

福井は**楽しい!**



## ■ まちなかの充実・にぎわいと交流

- 市街地再開発事業等支援事業
- 県都にぎわい創生推進事業
- 中心市街地賑わいづくり事業

## ■ 新幹線効果拡大関連イベント

- ふくいプロモーション事業
- 観光誘客事業
- まちなか滞在推進事業

福井は**安心!**



## ■ 子育て・教育・生活支援

- 子ども医療費助成制度完全無償化事業
- こども家庭センター運営事業
- 生活支援コーディネーター設置事業
- 地域スポーツクラブ・文化クラブ活動推進事業

## ■ 防災・生活基盤の強化

- 南消防署建設事業
- 防災行政無線更新事業
- ごみ処理施設整備事業
- タブレット活用事業
  - ・ 県民衛星「すいせん」活用事業
  - ・ タブレットを持って現地へGO!

福井は**元気!**



## ■ 農林水産業

- 農林水産物特産品販路拡大事業
- ブランド化による持続可能な福井市農業モデルエリア整備事業
- 新規人材林業スタートアップ促進事業

## ■ 商工業者・雇用

- ふくい企業価値向上推進事業
- 産業団地整備事業
- 産学MONOづくり支援事業

## 再掲 ■ まちなかの充実・にぎわいと交流

- 県都にぎわい創生推進事業
- 足羽川周辺エリアのにぎわい創出支援事業

DXとゼロカーボンの推進

チャレンジみらい予算

健全な財政運営

# 目指す新しい福井は「楽しい！」

## 市街地再開発事業等支援事業

2,835,262千円

### 主要事業5

市街地環境の整備・改善につながる民間主導型の再開発事業等に対して支援を行い、交流人口の増加やまちなかのにぎわい創出を図ります。



<A街区>



<B街区 中央通り側>

I  
まちなかの充実  
にぎわいと交流



## 拡充 県都にぎわい創生推進事業 51,042千円

### 主要事業7

「県都グランドデザイン」に基づき、楽しさあふれる県都づくりに向けた各種プロジェクトを推進します。



<足羽川 ヨリバ>

## 中心市街地賑わいづくり事業 15,000千円

### 主要事業9

北陸新幹線福井開業にあわせ、再開発事業区域やその周辺エリアにおけるソフト事業の充実により、まちなかに更なるにぎわいを創出します。



<まちなかイベント>

II

新幹線効果拡大  
関連イベント



楽しい!

**ふくいプロモーション事業** 39,200 千円

主要事業68

福井の認知度向上とイメージアップに向けて、首都圏等に向けた効果的な情報発信を行うことで、北陸新幹線開業効果の継続に取り組めます。



<テレビ番組誘致>

**拡充 観光誘客事業**

主要事業70

北陸新幹線福井開業を契機とする国内外からの誘客促進のため、観光PRに取り組むとともに、新たに整備した「ふくい観光案内所」等において観光情報を積極的に発信し、周遊観光を促進します。

**まちなか滞在推進事業** 95,564 千円

主要事業71

ふくい桜まつりの開催や、夜間観光の促進等により、まちなかの賑わい創出を図ります。



<ハピリン  
プロジェクションマッピング>



<桜まつり>

80,118 千円



<ふくい観光案内所>

# 目指す新しい福井は「安心！」

I

子育て

教育

生活支援



## 新規 子ども医療費助成制度完全無償化事業

主要事業40 26,584千円

子ども医療費助成制度に係る自己負担金の完全無償化のために、システム改修、制度周知および受給者証の発行等を行います。



## 新規 こども家庭センター運営事業 2,936千円

主要事業36  
安心して子育てできる環境を整えるため、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う「こども家庭センター」を令和6年4月に開設します。

## 新規 生活支援コーディネーター設置事業

主要事業34 50,072千円

高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活をつづけるために、地域で支え合う地域共生社会の実現や生活支援体制整備の推進に向けて、日常生活圏域ごとに生活支援コーディネーターを設置します。

## 新規 地域スポーツクラブ・文化クラブ

主要事業80 活動推進事業 35,137千円

中学生がスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる機会を確保し、活動選択の幅を広げ、地域クラブへ主体的に参加できるように、家庭、学校、地域との連携を図ります。また、部活動指導員を配置し教員の負担軽減に努めます。

II

防災

生活基盤の強化



安心!

**南消防署建設事業**

398,627千円

主要事業54

南消防署新庁舎の建設を行います。また、環境に配慮した省エネ効果の高い建築物であるZEB Readyを実現し、ゼロカーボンシティを推進します。



<南消防署>

**新規 防災行政無線更新事業**

16,058千円

主要事業52

整備後15年が経過した防災行政無線を更新するため、同報系および移動系無線に係る課題抽出、解決策検討、通信手段の比較など、更新のための基本計画を策定します。

**ごみ処理施設整備事業**

6,495,940千円

主要事業46

新たなごみ処理施設の整備に向けて、施設の建設工事を進めます。



<新ごみ処理施設>



**新規 県民衛星「すいせん」活用事業** 1,617千円

主要事業60

県民衛星「すいせん」の活用により、災害対応のスピードアップを図るとともに、地域住民の負担軽減と安全確保を図ります。



<県民衛星 すいせん>

# 目指す新しい福井は「元気！」

I

農林水産業



## 農林水産物特産品販路拡大事業

15,343千円

主要事業56

嶺北連携中枢都市圏内の農林水産物や加工品の販路開拓・拡大を図るため、連携市町や生産者、製造業等と連携しながら、国内外に向けた情報発信やPRなどを行います。



<首都圏での食のPRイベント> <北陸新幹線開業記念コラボ地酒>



## 新規 ブランド化による持続可能な福井市農業モデルエリア整備事業 17,664千円

主要事業57

地域商社を核に、三里浜エリアにおける農林水産物の生産、加工、販売の活力を高め、地域に人を呼び込み、持続可能なエリア形成を図ります。



<三里浜産オリーブオイル>

## 拡充 新規人材林業スタートアップ促進事業

6,487千円

主要事業58

林業従事者の高齢化や担い手の不足等の課題に対応するため、首都圏等からの人材を新たな担い手として定住・定着を図ります。



<活動イメージ>



II

商工業者  
雇用



**ふくい企業価値向上推進事業** 5,587千円

主要事業61

中小企業者の中核を担う人材の育成や、デジタル技術を活用したDX等への取組を支援し、企業価値の向上を目指します。



<ふくい企業価値向上研修会>

**新規 産業団地整備事業** 32,931千円

主要事業63

北陸新幹線福井開業や中部縦貫自動車道全線開通を見据えた企業誘致を促進するため、県と協働して新たな産業団地の整備を進めます。



<産業団地イメージ:福井市中央工業団地>

**新規 産学MONOづくり支援事業** 10,041千円

主要事業66

市内中小企業者のもつ既存の技術に新たな技術を掛け合わせるなど先端的な研究・開発を支援し、ものづくりをベースとした企業のイノベーションを促進します。



<産総研>

# DXとゼロカーボンの推進

## DX

### 総予算額

238,552千円

### 事業件数

30件

### 事業実績による歳出削減額（総額）※

160,398千円  
(※単年度あたりの歳出削減効果 26,499千円)

### 主な事業

- 自治体情報システムの標準化・共通化事業（戸籍・戸籍附票）  
戸籍・戸籍附票システムを、国の標準仕様書に準拠したものに再構築します。
- 水防対策DX推進事業  
水位計やウェブカメラ等を増設することで、河川や地下道等の状況をリアルタイムで把握し、早期対応を講じます。

## ゼロカーボン

### 総予算額

7,227,419千円

### 事業件数

22件

### 事業実績による歳出削減額（総額）※

57,690千円  
(※単年度あたりの歳出削減効果 8,610千円)

### 主な事業


- 個人住宅向け太陽光・蓄電池の導入支援事業  
市内に新築される個人住宅への太陽光・蓄電池の導入へ補助します。
- シェアサイクル活用促進事業  
「ふくチャリ」について、無人でも貸出ができキャッシュレス決済が可能となる新たなシェアサイクルシステムを導入し利用促進を図ります。

# チャレンジみらい予算

総事業費 16,796千円


歳入額 250千円

事業数 11件

事業名	所属	事業費 (千円)	内容
FUKUIラジオ部 ふくチューナー事業	広報課	868	大学生パーソナリティが、市の魅力や取組、地域的话题を紹介する番組を放送します。
デザイン思考による政策創造プロジェクト	総合政策課	150	新たな政策手法として注目されている「デザイン思考」を取得することにより、行政運営の効率化や住民サービスの向上を図ります。
もったいないを、ほっとけない。粗大ごみリユースプロジェクト	チーム提案 (収集資源センター) 	(歳入) 250	収集資源センターに持ち込まれた粗大ごみのうち、使えるものをメルカリを活用してリユースします。
これが私の生きる道！シニアパーティー事業	地域包括ケア推進課	287	「終活」の周知活動や楽しく終活を始めるために、エンディングノートの書き方等を学ぶ終活講座を開催します。
ちびっこもくもく広場事業	子ども福祉課	1,166	「こども家庭センター」に、木製遊具を完備した親子の遊び場を設置して、センターの周知や気軽に相談ができる環境整備を行います。
歩いて貯めよう！スマホde健康ポイント事業	チーム提案 (健康管理センター) 	2,320	スマートフォン用ウォーキングアプリを導入し、健康活動にポイントを付与することで運動習慣の定着など市民の健康増進を図ります。
認定路線図等公開システム構築事業	監理課	3,820	認定路線図等をインターネット上に公開するシステムを構築し、事業者等の負担軽減および「行かない窓口」の実現を図ります。

事業名	所属	事業費 (千円)	内容
「マイホーム これからノート」 で空き家発生予防プロジェクト	住宅政策課	100	住まいに関するエンディングノートを作成・配布し、所有する不動産の明細や今後の活用希望等を整理するとともに相続人等に伝えることで、空き家の発生予防に繋がっていきます。
AIを用いた管渠劣化予測の導入 可能性調査事業	下水管路課	3,740	老朽化した下水管路の改築事業を効率的に推進するため、AI技術を用いた管渠劣化予測の導入可能性調査を行います。

《以下、タブレット活用事業》 ※タブレットの活用を庁内で拡大していきます。

タブレットを持って現地へGO!	資産税課	2,728	固定資産税課税のための現況調査や災害時の建物被害認定調査にタブレットを活用することで、事務の効率化・省力化を図ります。
県民衛星「すいせん」活用事業	チーム提案 (林業水産課) 	1,617	県民衛星「すいせん」の活用により、災害対応のスピードアップを図るとともに、地域住民の負担軽減と安全確保を図ります。



その他、タブレット活用事業(チャレンジ事業以外)

情報収集等業務効率化支援事業	農業委員会事務局	1,229	タブレットを活用し、会議におけるペーパーレスの推進、WEB会議、現地調査を行うなど、事務の効率化・迅速化を図ります。
----------------	----------	-------	--

# 会計別予算概要



(単位：百万円、%)

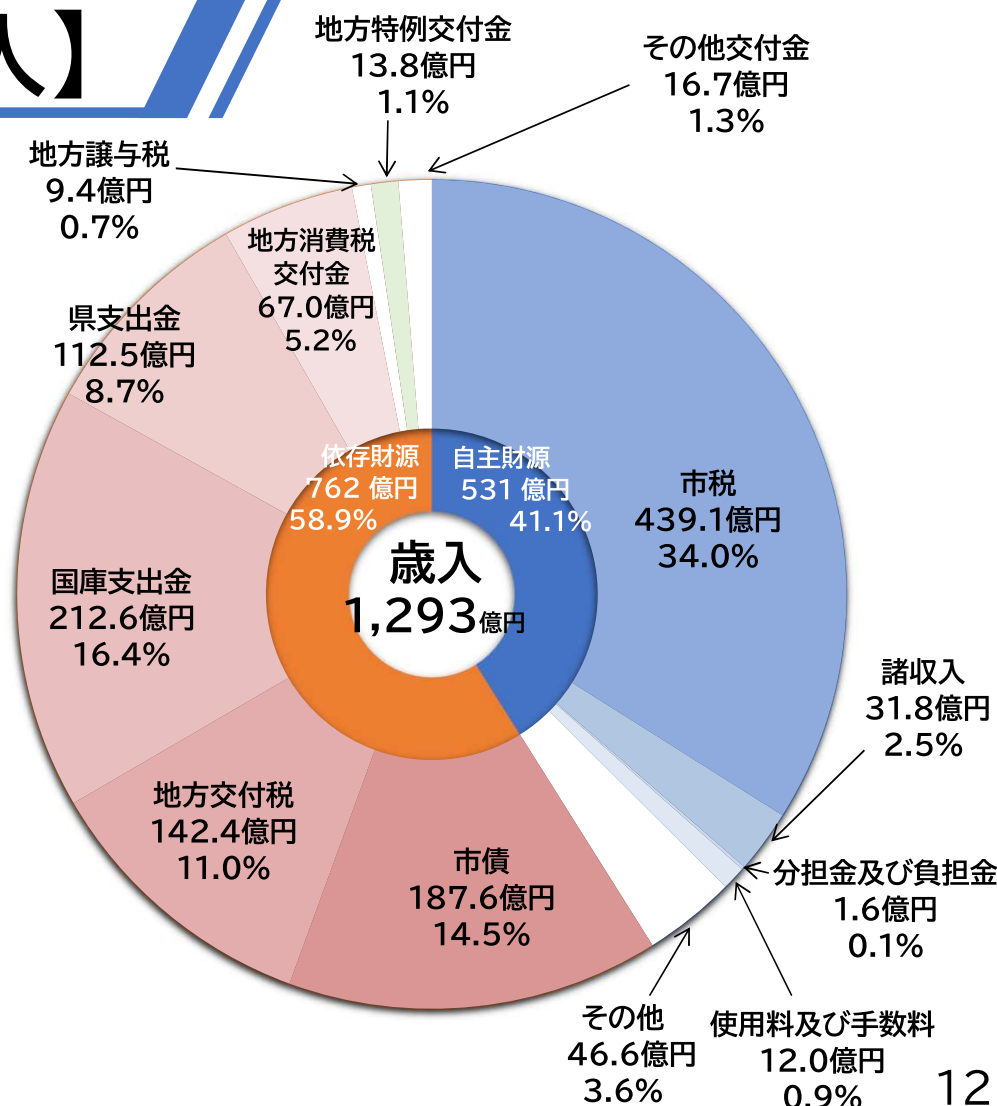
表示単位未満を端数処理しているため、内訳の計と一致しない場合があります。

会計別		6年度予算額	5年度予算額	比較増減額	増減率
一般会計		129,305	129,775	▲470	▲0.4
特別会計	国民健康保険特別会計	20,838	21,276	▲438	▲2.1
	後期高齢者医療特別会計	4,779	4,585	194	4.2
	介護保険特別会計	27,293	27,030	263	1.0
	母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計	27	31	▲4	▲12.9
	競輪特別会計	21,422	22,031	▲609	▲2.8
	産業団地整備特別会計	33	0	33	皆増
	宅地造成特別会計	246	376	▲130	▲34.6
	中央卸売市場特別会計	872	1,012	▲140	▲13.8
	駐車場特別会計	105	72	33	45.8
	地域生活排水特別会計 (※6年度から企業会計へ移行)	0	178	▲178	皆減
特別会計合計		75,615	76,591	▲976	▲1.3
企業会計	水道事業会計	7,800	8,740	▲940	▲10.8
	簡易水道事業会計	685	666	19	2.9
	下水道事業会計	20,640	21,110	▲470	▲2.2
	集落排水事業会計	1,424	1,271	153	12.0
	企業会計合計	30,549	31,787	▲1,238	▲3.9
総額		235,469	238,153	▲2,684	▲1.1

# 一般会計歳入歳出予算【歳入】

表示単位未満を端数処理しているため、内訳の計と一致しない場合があります。 (単位：百万円、%)

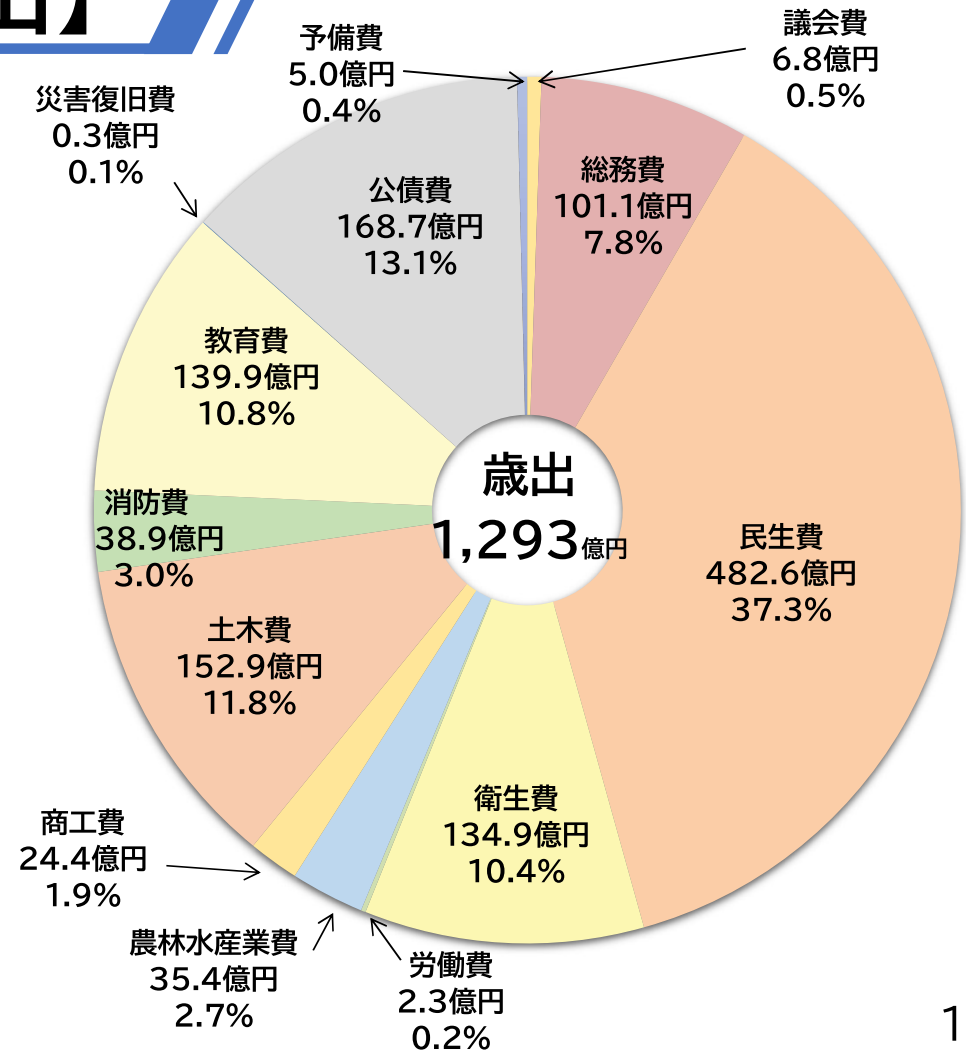
区分	6年度予算額	5年度予算額	比較増減額	増減率
市税	43,911	45,137	▲ 1,226	▲ 2.7
地方譲与税	942	916	26	2.8
利子割交付金	30	30	0	0.0
配当割交付金	235	300	▲ 65	▲ 21.7
株式等譲渡所得割交付金	246	150	96	64.0
法人事業税交付金	1,000	1,000	0	0.0
地方消費税交付金	6,700	6,700	0	0.0
ゴルフ場利用税交付金	31	30	1	3.3
環境性能割交付金	87	59	28	47.5
地方特例交付金	1,378	200	1,178	589.0
地方交付税	14,240	12,400	1,840	14.8
交通安全対策特別交付金	36	36	0	0.0
分担金及び負担金	158	210	▲ 51	▲ 24.5
使用料及び手数料	1,201	1,182	19	1.6
国庫支出金	21,260	23,170	▲ 1,910	▲ 8.2
県支出金	11,248	11,497	▲ 250	▲ 2.2
財産収入	115	107	8	7.9
寄附金	1,041	877	164	18.6
繰入金	3,000	1,681	1,319	78.5
繰越金	500	300	200	66.7
諸収入	3,185	3,493	▲ 308	▲ 8.8
市債	18,762	20,301	▲ 1,539	▲ 7.6
歳入合計	129,305	129,775	▲ 470	▲ 0.4



# 一般会計歳入歳出予算【歳出】

表示単位未満を端数処理しているため、内訳の計と一致しない場合があります。 (単位：百万円、%)

区分	6年度予算額	5年度予算額	比較増減額	増減率
議会費	685	685	0	▲ 0.1
総務費	10,108	9,395	713	7.6
民生費	48,255	46,329	1,926	4.2
衛生費	13,487	10,872	2,614	24.0
労働費	226	250	▲ 24	▲ 9.6
農林水産業費	3,539	3,882	▲ 343	▲ 8.8
商工費	2,438	2,216	223	10.0
土木費	15,292	18,803	▲ 3,511	▲ 18.7
消防費	3,887	3,555	332	9.3
教育費	13,991	16,692	▲ 2,702	▲ 16.2
災害復旧費	26	26	0	▲ 1.1
公債費	16,873	16,770	103	0.6
予備費	500	300	200	66.7
歳出合計	129,305	129,775	▲ 470	▲ 0.4



# 補正予算概要

総事業費 5,796,704 千円 事業数 42 件

主要な事業名	事業費(千円)	内容
定額減税補足給付金事業	1,475,724	物価高騰に苦しんでいる方々の生活を守るため、所得税および個人住民税の定額減税の恩恵を受けられないと見込まれる方に対し、定額減税と同水準になるよう給付金を支給します。
低所得世帯電力・ガス・食料品等価格高騰支援給付金事業	655,000	物価高騰に苦しんでいる低所得世帯の方々の生活を守るため、令和6年度新たに住民税非課税等となった世帯に対し給付金を支給します。
災害復旧事業	159,444	令和6年能登半島地震等の災害により被災した農業施設等の復旧を支援するほか、被災した公共施設の修繕を行います。
中小企業支援緊急資金保証料及び利子補給金	22,121	令和6年能登半島地震により被害が生じた市内中小企業者の経営再建を支援するため、県と市が連携して、制度融資にかかる保証料および利子を補給します。
災害対策本部機能向上事業	16,860	災害時に設置する災害対策本部において、現場の被災状況や避難所情報などの必要な情報をリアルタイムに把握し共有できる防災情報システムを導入します。
産業団地整備事業	7,470	北陸新幹線福井開業や中部縦貫自動車道全線開通を見据えた企業誘致を促進するため、県と協働して新たな産業団地の整備を進めます。
上水道整備事業	275,000	国の経済対策に伴い、水道管路の老朽化対策に係る事業費を補正します。
下水道整備事業	464,749	国の経済対策に伴い、下水道施設の老朽化対策に係る事業費を補正します。



# 目指す新しい福井は「安心！」

## 新規 「いのちを守ろう！」木造住宅無料耐震診断緊急事業

3,820千円

### 主要事業1

令和6年能登半島地震を契機とする住宅の耐震化に対する市民意識の高まりに対応するため、木造住宅の耐震診断及び補強プラン作成に係る自己負担分を本市独自で負担し、耐震診断等に要する費用を無料化するとともに、事業費を増額します。

### 対象

市内に所在する昭和56年5月31日以前に着工された一戸建て木造住宅

### 新規制度

耐震診断等に係る自己負担分の無料化



<被災地にて住宅の状態を確認している職員>

II  
防災  
生活基盤の強化

